



奈留高校 学校便り

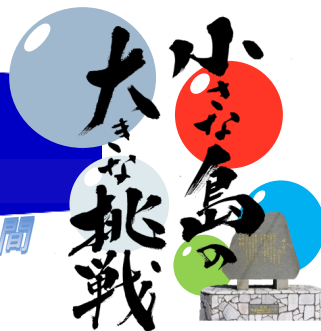
令和4年

鍛錬坂

10月26日発行

第195号

奈留高校 E島 E明日 E仲間



校長室から 校長 釘島正智

長崎県は全国で最も多くの離島を持つ県です。少子高齢化と人口減少が急速に進む離島地区の学校では、生徒数減・職員数減が深刻な問題です。本校でも学校規模・教育力の維持のために小中高一貫教育や離島留学制度等に全力で取り組んで参りました。



令和3年度からは長崎県が文科省の「地域に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワーク構築事業(COREハイスクール・ネットワーク構想)」の事業委託を受け、一島一校の小規模校である宇久高、北松西高、奈留高と遠隔授業先進校の老岐高でNagasaki Remote Islands Learning Network(RIL-Net)を形成して研究が始まりました。目的は「(自校に教員がいない科目の)スペシャリストの授業をオンラインで受講して単位を認定可能にすることで、生徒の多様な興味関心と進路実現に対応する」「遠隔システムを利用して、他校と協働した探究活動を実践する」「学校外の機関と連携した諸活動のネットワークづくりを行う」です。(一財)地域活性化センターの「地域づくり」10月号の特集記事「地域創意による新しい教育」の中で本県の取組が掲載されています。また、本県の取組は専用Webサイト<https://core-hs.news.ed.jp>でも紹介されていますので是非ご覧ください。

小中高一貫教育については、10月11日(火)の小中高合同会議で行事の反省が議題になっていました。合同行事はそれぞれに成功を収め、児童生徒のアンケート結果からも、満足度、達成感が高いことが窺われます。思い出に残り、成長の糧ともなる貴重な体験になったようです。

10月18日の8:10から小学校に高校生が出向き、Rainbow Spaceで英語の絵本の読み聞かせを行うという活動が行われました。高校性1人に対して小学生1~2名のグループで、読み聞かせだけでなく「色、形、動物」など小学生の英語活動と関連づけたやりとり(コミュニケーション)も行われていました。

ニコニコしながら友だちに「おもしろかったー」と言って教室に戻る小学生がいました。子ども同士で交わされる感想は本当の気持ち、本音です。それを聞いて、よい企画だったなどの思いも一層強くなりました。高校の英語多読活動(NAPER: Naru Project on Extensive Reading)の延長としての新たな取組ですが、小中高一貫教育に新たな1ページを加えることにもなってくれました。

本校の教育実践や奈留地区の小中高一貫教育の実践は、歩みを止めることなく進化を続けています。ICTの活用などの大きな改革と同時に、大原麗子さんによるサントリーレッドのCM「すこし愛して、なが〜く愛して」ならぬ「少し進んで、なが〜く進んで」も大切にしていきたいと思っています。(CMをご存じない方、ごめんなさい)



行事予定

11月 November

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 4日(金) 小中高合同音楽祭(1年生)
マラソン大会(午後) | 17日(木) 第3回考査時間割発表 |
| 5日(土) 進路マップ・対外実力(1, 2年) | 19日(土) 共通テストプレ |
| 6日(日) 対外実力(2年) | 20日(日) 共通テストプレ |
| 7日(月) NAPER週間(~11日)
マラソン大会予備日 | 23日(水) 五島地区PTA研修会 |
| 9日(水) 交通講話
高校入試相談会(保護者対象) | 24日(木) 第3回考査(~29日) |
| 12日(土) バドミントン県新人戦 | 27日(日) 全商ビジネス文書実務検定 |
| 13日(日) バドミントン県新人戦 | 30日(水) 放課後補習開始(3B) |
| 14日(月) 体育館LED化工事開始 | |



進路指導部より

共通テスト100日前集会

11月6日(木)に「大学入学共通テスト」の「100日前集会」を実施しました。3年生Bコースもいよいよ本番に向けて、カウントダウンに入ってきました。教頭先生からのお話や生徒代表、小池君の決意表明を聴きながら、残り100日をどのように過ごしていくのか改めて考えさせられる集会になったと思います。



〒853-2201 五島市奈留町浦1246-2 ☎ 0959-64-2210 FAX 0959-64-3087

奈留高校ホームページアドレス <http://www2.news.ed.jp/section/naru-h/>

ホームページはこちらのQRコードからもご覧いただけます⇒



生徒会紹介

9月末に行われた生徒会役員改選選挙の結果を受けて、10月12日（水）に生徒会役員任命式が行われました。任命式では、旧生徒会長の野田怜那さんの挨拶の後、新生徒会長の窄中玲央さんが抱負を述べました。新しい生徒会執行部は以下の9名で活動していきます。よろしくお願いいたします。

会長 2年1組 窄中 玲央（さこなか れお）
副会長 2年1組 六川 真央（むつかわ まお） 1年1組 桂 誉予（かつら たかよ）
書記 2年1組 夏井 海聖（なついかいせい） 1年1組 山本 千乃（やまもとちの）
会計 2年1組 村上 貴太（むらかみ かんた） 1年1組 松村 幸音（まつむら ゆきね）
執行委員 2年1組 北川 智也（きたがわ ともや） 1年1組 四辻 瑠那（よつじ るな）

〈新生徒会役員代表挨拶〉

生徒会長 窄中 玲央



こんにちは。新しく生徒会長を務めさせていただきます2年の窄中玲央です。

私は昨年度、生徒会副会長を務めさせていただきました。生徒会活動のなかでいつも3年生の先輩方は細かなところまで気配りして誰よりも率先して動いていました。そんな先輩方に少しでも近づけるように頑張っていきたいです。

私は、新しい生徒会の取り組みとして「目安箱の設置」を行いたいと考えています。「目安箱」とは、生徒の要望や意見の投書を募る箱のことです。日常生活で「奈留高校のここが変わればいいのにな」というような「たられば」をよく耳にします。目安箱の設置を行うことで、そんな「たられば」を叶えていきたいと思えます。もちろん、すべての要望を受け入れるわけではありません。「変わらない良さ」も大切にしながらみんなでより良い学校を築いていきたいです。

今年の生徒会ではここ数年はなかった決選投票が行われました。つまり、去年よりも多くの人が生徒会に興味を持ち、チャレンジしてくれたということです。熱い思いを持って集まった生徒会役員のトップとして、より一層自覚と責任を持って行動していきたいです。生徒全員の貴重な高校3年間で少しでもいいものにできるよう尽力します。1年間よろしくお願いいたします。



校内マラソン大会予告

令和4年度 奈留高等学校マラソン大会

1 期 日 令和4年11月4日（金） 小雨決行 雨天延期（7日（月））
2 日 程 13：45～14：25 マラソン男子の部（40分）
14：30～15：10 マラソン女子の部（40分）
※スタート、ゴール共に奈留離島開発総合センター前

交通にご迷惑おかけしますがご了承ください。沿道でのご声援をよろしくお願いいたします。

COREハイスクール

文部科学省委託事業、長崎県版地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワーク構築事業（COREハイスクール・ネットワーク構想、以下コア事業）として、令和4年度から奈留・宇久・北松西の離島3校をつないだ遠隔授業が地理・歴史で行われています。地理・歴史に続いて、英語においても10月17日、3校をつないだ遠隔授業が行われました。

コア事業が行われている背景は、3校ともに教室内の人数が少なく、学びの深化を図るための多様な意見や考え方に触れる機会が少ない現状もあります。また、英語の授業においては、「読む・聞く・話す・書く」の4技能を総合的に高めることが重要視され、特に「話す・書く」ことによる「発信力」を育てることが今後ますます求められています。更に近年話すことは、「やり取り」と「発表」の2領域に分けられ、以前より相手を意識した発信が求められるようになってきています。

前述の課題を解決すべく、英語オンラインプレゼンコンテストが実施される運びとなり、その準備として今回の授業では各校生徒が「今年の冬に2回目の島訪問をする外国人観光客に紹介したいもの」をテーマに英語でプレゼンテーションを行いました。本校からは2年進学コースの生徒が参加し、ユーミンの歌碑や奈留神社、3兄弟工房などについて発表しました。ユーミンの歌碑に関してプレゼンテーションを行ったグループは、よりわかりやすい発表にするために、プレゼンテーションを対話形式で行ったり、歌を歌ったりと工夫を凝らし高評価を得ていました。また、各校生徒同士が互いのプレゼンテーションに対して質疑・応答を行い、初対面にも関わらず円滑に英語でやり取りができていました。

英語オンラインプレゼンコンテストの本番は12月に実施されます。生徒の更なる活躍が期待されます。

奈留高職員 ペンリレー

～山道先生～



私は中学生の頃まで、家で勉強をすることはほとんど無く、好きなサッカーばかりやっていました。何とか高校には入学できたものの、授業についていくのがやっとでした。しかし、そこである数学の先生と出会い、人生が変わりました。とにかく授業が楽しくて、今までの自分では考えられないほど数学に熱中していきました。結果として成績が向上し、数学教師を志すきっかけになったのですが、自分語りはこのへんで。

要は何を伝えたかったかというと、どんなに苦手や嫌なことでも、向上心を持って取り組めば自身を飛躍させるチャンスになり得るということです。私の場合は数学でしたが、もちろん勉強に限った話ではありませんし、人それぞれ異なるものだと思います。当然好きなことだけをやる方が楽だと思いますが、まだ若くて失敗の許される皆さんには、視野を広げ、様々なことに積極的にチャレンジして欲しいです。